



さまざまな課題の解決に挑戦し続け、
すべてのステークホルダーにとっての
『オンリーワン・カンパニー』を目指します

株式会社朝日工業社
代表取締役社長

高須 康有

当社の事業環境

当社グループの事業を取り巻く環境は、企業収益の改善やインバウンド需要の増加、地球環境保全への社会的要請などを背景に、国内企業を中心とした設備投資意欲が引き続き堅調であり、好調さを維持しております。

設備工事業では、激しい価格競争や資機材の高騰、施工現場における労働力の不足など、懸念される事項は少なくありませんが、半導体工場、データセンター等の大型先端施設や首都圏等の再開発など、投資計画は豊富であり、利益面も含めて業績は好調に推移しております。

また、機器製造販売事業では、半導体製造装置向け製品は納入先の生産調整等の影響により受注高・売上高の大幅な積み上げが難しい状況ですが、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置向け製品は、主に中国パネルメーカーの需要増加に伴って受注が増加しており、また半導体・FPD関連以外の新規事業として進め



ているドライヤ関連事業につきましても徐々に受注が増加しております。

このような環境下、当社グループの前期(2024年3月期)の業績は、受注高、売上高、各段階利益の全てで事業計画の目標を達成し、前々期(2023年3月期)の業績も十分に上回ることができました。また、当期の第1四半期では、受注高・売上高は前期より減少したものの、利益面では前期以上の実績を残しております。

直近3期 連結業績	'22/3期	'23/3期	'24/3期	前期比増減率
受注高	82,002	86,778	97,586	12.5%
次期繰越高	75,773	82,380	88,290	7.2%
売上高	68,820	80,171	91,676	14.4%
売上総利益	8,462	9,053	11,652	28.7%
営業利益	2,287	2,697	4,568	69.4%
経常利益	2,596	3,127	4,896	56.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,860	2,480	3,712	49.7%

(単位:百万円)

第18次中期経営計画の進捗状況

長期ビジョン「ASAHI-VISION 100 ～C.C変革への挑戦～」の最終Stage(計画期間:2023年4月～2026年3月)として策定した第18次中期経営計画も2年目を迎え、その達成に取り組んでおります。

この中計で掲げた「事業戦略」「人材戦略」「イノベーション戦略」の3つの戦略について、その進捗をご説明いたしますと、まず、「事業戦略」においては、収益力の強化と生産性の向上を目指して、戦略的かつ長期的視



野に立った受注活動の推進や全社的な設計・施工体制、サポート体制の構築を推し進めております。これらの施策が確実に成果につながり、前期、目標を超える業績となったものと考えます。

2つ目は「人材戦略」です。当社は「人こそが最大の財産であり競争力の源泉である」と位置づけ、人的資本への投資を積極的に行っております。社員の生活を守り、エンゲージメントを高めるため、前年度は物価上昇に対するインフレ対応一時金を全従業員に支給し、併せて平均約7%の賃上げを実施いたしました。また、現場業務従事者の負担軽減および残業時間上限規制対応としてCAD室を強化し、全店規模で施工図の作成をバックオフィスで行う「施工図支援センター化」を進めており、設計、施工、維持管理プロセスにおいてはBIM（ビルディングインフォメーションモデリング）活用を推進しているところであります。

「イノベーション戦略」では、研究開発の強化・推進のため、2025年秋の完成を目指して、茨城県つくば市に「探求心・知的好奇心を醸成し次世代の環境と新事業の創出に挑戦する」をビジョンとし、「楽しく考えることのできる技術拠点」をコンセプトとした新たな技術研究所を建設中であります。当社の独自技術を取り入れることで

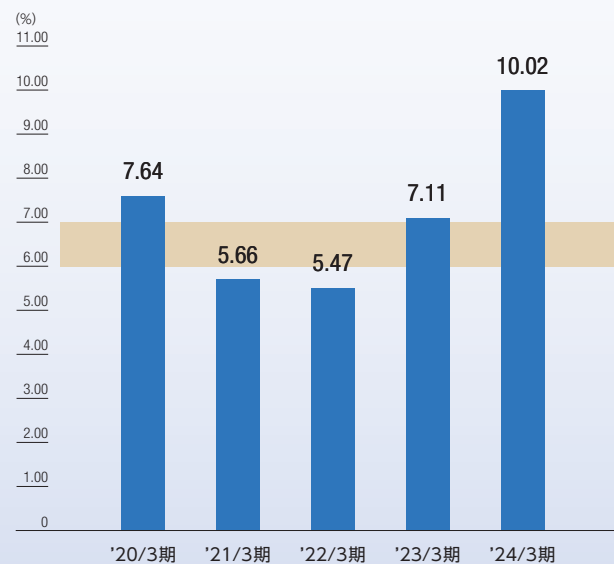
独創的で有効な省エネ・創エネを行い、高い環境性能を備えて、心地良い研究開発環境を持つ技術研究所を目指しております。

また、本中期経営計画においては、資本コストを意識した経営により、「グループ全体の企業価値の向上と持続的な成長を目指した、資本効率の追求と財務健全性の維持向上とのバランスの最適化」を資本政策の基本方針としております。資本効率の改善として2026年3月期までに政策保有株式の20%を目標に計画的な縮減を進めており、また2026年3月期において目標を8.0と設定しているROE（自己資本利益率）につきましても、前年度は10.0%を超える実績であり、当社が認識している株主資本コスト（6%）を上回る水準で推移しております。

株主還元につきましては、1株当たり普通配当年40円（株式分割前換算80円）、連結配当性向40%以上を配当方針としておりましたが、前期実績としましては、1株当たり普通配当年60円、連結配当性向41.6%と目標以上の実績を残しております。また、今後、2025年4月3日に迎える創立100周年を記念し、10円の記念配当の実施を予定しております。

第18次中期経営計画も1年半が経過しましたが、今後も全役職員の英知を結集し、計画の達成に取り組んでまいります。

ROEの推移



※ページ網掛け部分は株主資本コストの推移幅（6%～7%）です。

脱炭素社会への貢献

当社は、企業理念において、「地球環境と資源を大切にしながら、空気・水・熱の科学に基づく高度な技術によって、最適空間を創造し、人類文化の発展に貢献する」ことをMISSION(使命)とし、また2021年に策定いたしました『朝日工業社グループSDGs基本方針』においても重点課題として、「地球環境の保全・資源の保護による脱炭素社会の実現」を掲げております。建築分野においては省エネ・再エネの活用による運用時の脱炭素化にとどまらず、施工・廃棄段階を含めたカーボンニュートラルに向けた取り組みが必要とされております。当社はこれまで培ってきた技術力を生かして、省エネや脱炭素に関わる技術と製品の開発を進めるとともに、サプライチェーン企業とも連携し、気候関連における取り組みを更に強化してまいります。また、自社の事業活動で排出している二酸化炭素排出量においても排出量算出精度の向上はもとより、太陽光パネル設備の導入や再エネ電力への切り替え等による削減を行い、脱炭素社会の実現に貢献し続けてまいります。

100年のその先へ



おかげさまで100周年



当社は2025年4月に創立100周年を迎えますが、この100年近い歴史を築くことができたのも、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまから信頼を寄せていただいたこと、そしてそのお客さまの声に真摯に向き合い、誠実に応えつづけてきた社員の努力の賜物であると考えます。今後も100年のその先を見据え、「空気・水・熱」のプロフェッショナルとして、お客さまや社会のさまざまな課題の解決に挑戦し続け、すべてのステークホルダーにとっての『オンリーワン・カンパニー』となれるように、さらなる企業価値の向上と持続的成長を目指して経営を進めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。